

一病院化に関するQ&A

Q	なぜ、一病院化を進める必要があるのでしょうか。
A	高齢化に伴う人口の減少や医師の確保が困難な状況が続くこと（特に東濃厚生病院・土岐市立総合病院規模の病院では、専門医、高度医療のための医師の確保が困難）などの事由により、現状のままの形では、ともに経営が立ち行かなくなり、両市から総合病院が無くなるのが懸念されます。 東濃厚生病院と土岐市立総合病院の一病院化は、地域の医療資源を集約し、より高度な医療サービスの提供と、将来に亘る地域医療の確保を目指すものです。 また、瑞浪市が土岐市との共同設置に参画することで、瑞浪市が主体的に地域医療に関わることが出来る状況となります。
Q	一病院化により、現在不足している産婦人科や小児科はできるのでしょうか。
A	新病院は400床程度の規模を想定しており、より大規模な病院とすることで、現在、東濃厚生病院や土岐市立総合病院が有していない診療科の設置などが期待できます。現時点で明確にお示しできませんが、新病院の設置は、医師を派遣する大学の医局などに対して大きなアピールになるとともに、医師からも働く場として選ばれる病院となるなど、医師の確保に繋がるものと考えております。
Q	建設候補地は、どのような経緯で選定されていますか。
A	建設候補地の選定に当たっては、「東濃中部の医療体制検討会」において、土岐市立総合病院の現地での設置を適切とする土岐市と、両病院の中間地点での設置が望ましいとする瑞浪市、J A 岐阜厚生連とで協議を重ねてきました。 中間地点については、両市より候補地を出し協議する形としましたが、瑞浪市には土岐市境付近に400床規模の新病院を建設する適地がなかったため、やむを得ず候補地を出していません。 その後、令和2年3月に開催した「第9回東濃中部の医療提供体制検討会」で、新病院の建設候補地は両病院の中間地点を基本に調整することで合意に至り、新病院の設置主体となる公的機関の設置に向けた協議を行う組織（土岐市・瑞浪市病院事業一部事務組合設立準備会）を2市が協同で設置することも決定されました。 この準備会において、病院事業適地選定等調査業務委託により、検討会で選考した地点の他、両病院の中間地点という条件のもと専門的な見地から建設候補地を挙げるよう求めたところ、新たに別の候補地が示されました。この調査結果をもとに準備会において検討を行い、新たに挙げられた候補地を建設候補地として選定しました。
Q	建設候補地は土岐市肥田町と聞きました。土岐市の病院ということになりますか。
A	土岐市内での建設予定となりますが、瑞浪市も土岐市とともに新病院の設置主体となります。病院の建設整備や管理運営に関する事務を行うために、瑞浪市・土岐市の両市が構成市となる「一部事務組合」を設置し、両市が合同で病院事業を行うこととなります。よって、土岐市立の病院ではありません。

Q	東濃厚生病院の後利用についてはどのようなになるのでしょうか。
A	市としては、多くの市民が受診している状況から、「JA岐阜厚生連」に対し、一次医療機能（クリニック機能）の継続及び、福祉・介護施設等としての活用を強く要望しているところです。
Q	遠くなると病院に行けなくなる、もしくは行かなくなる人が増えてしまうのではないのでしょうか。
A	病院までの通院が市民にとって大きな負担とならないよう、アクセス手段の確保について、しっかりと検討してまいります。今後は、病院の役割分担がより明確化されます。まずはかかりつけ医（一次医療）での受診が大切になります。市としても、一次医療、二次医療、三次医療と総合的に地域医療を守っていくことが重要であると考えています。
Q	ただでさえ人口減少が進む中で、総合病院が無くなることで魅力のない町になってしまうのではないのでしょうか。
A	総合病院の存在は、住民に対して大きな安心を与えるものだと思います。しかし、現状のままでは、両市から総合病院がなくなってしまうことも懸念されます。 新病院の設置により、市内には総合病院はなくなりますが、隣接する地域に現在の東濃厚生病院より、さらに充実した医療機能を持つ総合病院ができることで、市民の皆さんが安心して暮らしていける市になると考えます。
Q	救急車が足りなくなるのではと思うのですが、対策はできているのでしょうか。
A	現在、症状等によって対応できる市内外の病院に、救急搬送は行っており、東濃厚生病院、土岐市立総合病院の輪番制で両市民の夜間救急医療等に対応しています。また、脳の疾患などは、土岐市立総合病院や県立多治見病院へ搬送する場合があります。 新病院の設置により、搬送先が現状より固定され、脳・心臓等の重篤な疾患に対しても迅速な対応が可能となります。また、現状では、県立多治見病院へ搬送されるケースの中にも、新病院設置後は、より近い新病院で治療が可能となるケースもあると思います。 救急車については、適切に対応してまいります。
Q	お店をやっていますが、病院がなくなってしまうと山岡や駄知方面からの集客がなくなってしまうとさらに厳しい経営環境となってしまうと思います。現在の総合病院以上の集客について検討されていますか。
A	新病院の設置までには相当の期間が必要で、それまでの間は土岐市立総合病院との間で機能分担を行いながら病院運営は行われるため、直ちに通院患者等が減ることはないと考えます。市は「JA岐阜厚生連」に対し、医療、福祉・介護施設等として活用していただくよう強く要望しております。
Q	今後、結婚する若い人が住まなくなってしまうのではないのでしょうか。若い人の意見は聴かれますか。
A	新病院には、若い世代の方々が特に望まれる医療サービス（小児科・産婦人科等）も提供できるよう努めてまいります。パブリックコメントを通してのご意見とともに、直接ご意見をうかがえる場も持ちたいと思います。